

# 今月のテーマ 長崎からのメッセージ

# 市長の心と手

～自らの思いを皆さんに語るコラム～

新しい年が始まりました。長崎は世界に通じるメッセージをいくつも持っている稀有なまちですが、今年も大切なメッセージを世界に発信することになりそうです。

昨年未だアメリカで封切られた映画「沈黙」が、1月に日本でも公開されます。

その原作である遠藤周作先生の小説「沈黙」の舞台は、キリシタン弾圧が激しかった時代の長崎。命を懸けて信仰と向き合った人たちの物語です。

厳しい弾圧の中で必死に生きた人たちの姿が、小説となり、いま巨匠マーティン・スコセッシ監督の手で映画になりました。

来年は世界遺産に登録されようとしていることを、当時の人たちは考えもしなかったでしょう。

この物語は、グローバル化の時代に、異文化の出会いについて考えさせてくれると同時に、時代を超えて、人間として生きるこの意味も考えさせてくれます。

夏には、世界中の都市の代

表が集まる「平和首長会議」の総会が、長崎市で開催されます。トランプ新大統領の就任をはじめ、世界の政治状況は、先を見通すことが難しい状態です。でも、時代がどう変わっても変わらない、平和を求める世界の人々の思いを長崎に結集する会議です。

今年、核兵器禁止条約をめぐる国連の動きも注目されます。

「平和は長崎から」。原子雲の下で何が起きたのか、という核兵器の真実を伝えながら、平和を市民社会からつくっていく、という長崎のメッセージを発信する機会となります。

秋が終わるころには、念願の「出島表門橋」が完成します。昔と同じように、橋を渡って出島に入ることができるようになります。

世界最先端の技術を駆使した橋です。

出島復元の動きが始まって六十数年。四方が水に囲まれた出島の姿になるには、まだ数十年の時間を要するでしょう。

出島表門橋の完成は、百年かけてまちのシンボルを復元するといふ大事業の中でも、重要な一里塚になります。

今、出島が発信しているメッセージは「つながる出島」。世界とのつながりを呼びかけています。古いつながりを大切に、新しいつながりを創造していきましよう、という長崎からのメッセージがそこにあります。



「出島表門橋」完成イメージ図

長崎のメッセージは、世界に向けて発信されるだけではありません。このまちの歴史が示すメッセージの一つは、「まちは人間がつくる」というものです。

人口減少の時代にも、少子化や高齢化が進んだとしても、暮らしやすく魅力的なまちはつくられる、というメッセージもしつかり発信できるまちでありたいと思います。

今年もよろしくお願ひします。

## ながさき フチ旅行

### 在りし日の長崎 勝山町周辺

市役所から歩いてすぐの桜町小学校には、サント・ドミンゴ教会跡資料館があります。江戸初期に建てられたこの教会は、禁教令によって5年で壊されました。その遺跡が小学校の校舎建設時に発見され、見学することができます。

そこから、長崎歴史文化博物館を右に見て進むと、戦時中に県の防空本部があった立山防空壕が静かにたたずんでいます。近くには「どつどつひろば」や多くの石像が立ち並ぶ長崎公園や、大木が車道の真ん中に鎮座する道路もあります。

新しい年、勝山町周辺を歩きながら、長崎の歴史や平和の尊さを改めて感じてみてはいかがでしょうか。

周辺地図

サンクト・ドミンゴ教会跡資料館  
入館無料  
毎週月曜・12/29～1/3休館



大木の横を車が慎重に往来



長崎県防空本部跡(立山防空壕)



出かけて見る・知るまちのオススメスポット

長崎県防空本部跡  
見学無料、毎月第3火曜(祝日の場合はその翌日)は休み